7　芸術（美術）

学校番号	１００９

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	ワークプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・独創的な主題を見出しそれにあった表現の構想を追求します。自分の主張、作品と社会や時代のかかわりを考察し　自分の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わいます。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術に関わるということ	・オリエンテーション ・美術に関わる職業の多様性について考察する。 教科書の中から選択した職業について各自調べたことを発表する。	○			○	a:美術に関わる職業の多様性に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子 発表の様子
	大きな作品を作ろう	・平面作品の大作を作成する。 主題にあった表現方法を選択する。 アイデアスケッチ 作品の土台作り 制作方針を発表 途中経過を発表 ・完成作品を全員で鑑賞する	○	○	○	○	a:自己の主題のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:油絵の具　アクリル絵の具　水彩絵の具等の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に個性的に表現している。 d: 自己の作品を振り返り　他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 ワークシート
	展覧会へ行こう	・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 ブロック展やコンクール展など　美術館での展覧会(常設　特別展等)	○			○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	鑑賞ワークシート

	絵本を創ろう	・主題を決め、それにふさわしい内容と装丁を考える。 ・アイデアスケッチ ・表現方法を考える ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:自己の主題のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:話の内容や展開などから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:絵の具等の画材の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に個性的に表現している。 d: 自己の作品を振り返り　他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	卒業論文	・「芸術と私」というテーマで1200字以上の文章を書く。 ・内容に即した装丁の表紙をつける。	○	○	○		a:自己と芸術との関わりに関心を持ち、表現や鑑賞の活動の振り返りに主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、工夫して表現の構想を練っている。 c:用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。	制作の様子 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。